

# 春 風 駘 蕩



市川中HP

## 想像以上の陵風祭

▼市川中学校第60回学園祭「陵風祭」が、今年度は新型コロナウイルス感染防止等重点措置のため、16日(木)に延期して行われました。▼開祭式では、生徒会本部による趣向を凝らしたオープニングムービーと部門の生徒によるミニ舞台、ステージバックや学級旗の披露が行われました。



そして、「今このときを大切にし、最高の思い出を作り上げよう」と高らかに開会宣言が行われました。

▼続いて文化の部が行われました。1学年演劇は「屋根裏チュー学校」。コミカルでかわいらしさの中にも、「自分たちの学校を守るんだ!」という力強さが感じられました。



▼2年生の演劇は「光～繋げたいモノ」。ゲームの中で殺りくを繰り返す少年が、祖先の被爆経験を通して、命の大切について問い直すすばらしい作品でした。



▼3年生の演劇は「お友達契約書」。いじめ問題をリアルに表現した作品で、3年間の集大成にふさわしい内容と表現力に圧倒されました。



▼午後は体育の部で始まりました。コロナ対策として非接触、ソーシャルディスタンスの確保など様々な制約がある中で、体育部門では、競技種目を考えてくれました。



「全員リレー」などの学年別対抗競技の他に、全校が3つの系列に分かれて競い合う「バケツリレー」や「竹棒リレー」が行われました。▼十分な取組時間が確保できない中での本番でしたが、



全力で必死に取り組む姿と、和気藹々と競技を楽しむ姿の両面が見られた楽しいひとときでした。

▼午後5時から、再び体育館に戻り、吹奏楽部の発表と閉祭式が行われました。本来であれば陵風祭が3年にとっての最後の演奏の場となる予定でしたが、今回はスライドで年間の活動を紹介し、録音で県吹奏楽コンクール曲を流しました。



▼閉祭式では、これまでを振り返ってのエンディングムービーを見た後、生徒会本部が扮するミニオンズが再登場し、本日のキーワードであった「思いやり、協力、楽しむ」を全員で成し遂げたすばらしい陵風祭であったことを確認し合いました。



▼午後5時45分、この日は、地域ごとに教員引率のもと集団下校を行いました。その前に火文字と花火が打ち上げられ、



感動的なフィナーレとなりました。▼一人一人の頑張りにより、感動的で、素晴らしい陵風祭となりました。